UNIX システムへの SSH (Secure Shell) 接続について

システム運用掛

2000 年 7 月 3 日より UNIX システム(m-unix, scalar-mpp, sr8000-s, sr8000-p)への ネットワーク接続方法として SSH (Secure Shell)による接続を可能としました。本接続 を利用すると利用者端末と本センターの UNIX システム間でネットワーク経路上のデータ ーが暗号化されます。パスワードやプログラム、データー等で隠蔽したい情報の漏洩を防 ぐことができるため、従来の telnet 接続に比べてより安全な通信となります。現在インス トールしているバージョンは SSH Version 1.2.27 Protocol Version 1.5 です。(バージョン 2 は未対応) ここでは、本 SSH 接続を利用するための方法をいくつか紹介します。

SSH 接続できるホスト名

機種	OS	ホスト名
HITACHI MP5800/320	HI-OSF/1-MJ	m-unix.cc.u-tokyo.ac.jp
		sr8000-s.cc.u-tokyo.ac.jp
HITACHI SR8000	HI-UX/MPP	sr8000-p.cc.u-tokyo.ac.jp
HITACHI SR2201	HI-UX/MPP	scalar-mpp.cc.u-tokyo.ac.jp

(SSH 接続のポート番号は 22 を使用、従来通りの telnet 接続も可)

◆ ワークステーションからの接続(UNIX 端末)

ワークステーションからホストに接続するためには telnet コマンドの代わりに ssh コマンド(または slogin コマンド)を使用します。

% ssh -l ログイン名 ホスト名(または slogin -l ログイン名 ホスト名)
注)これらのコマンドは使用しているワークステーションにインストールされている必要があります。
コマンドが使用できない場合にはワークステーションの管理者にお問い合わせください。

1. コマンドを入力

myhost% ssh -l a30000 munix.cc.u-tokyo.ac.jp

2. はじめての接続では次の確認メッセージが出る(yes で答える)

Host key not found from the list of known hosts.

Are you sure you want to continue connecting (yes/no)? yes.

3. パスワード(以下の例では m-unix のパスワード)を入力

a30000@m-unix.cc.u-tokyo.ac.jp's password:

4. ログインに成功するとログインメッセージが出力される

Last login: Tue Jun 13 10:14:22 from sr8000-s.cc.u-tokyo.ac.jp Welcome to MP5800 OSF/1 Unix at Computer Centre, the University of Tokyo HI-OSF/1-MJ 05-03-/B (Mon May 31 17:00:00 JST 1999) / m-unix.cc.u-tokyo.ac.jp See /info/* files (in JIS-kanji) for getting further information. ("show-info" is the command to read these files.) You have mail. %

- ◆ パソコンからの接続(PC 端末) ネットワーク接続されているパソコンからホストに接続するためには、
 - 端末エミュレーター機能
 - SSH クライアント機能

を持つソフトウェアが必要です。提供形態は様々で、機能を両方兼ね備えているソフトウェアもあれば、2つのソフトウェアが必要なものもあり、一概にどの方法が良いとは言えません。ここでは代表的な接続例を示しますので参考にして下さい。

Windows からの接続

注)端末エミュレーターTera Term PRO Version2.3(フリーソフト) + SSH クライアント機能 TTSSH Version1.5.1(フリーソフト)を使用した例です。これらのソフトウェアのインストール、起動、 設定は付属のドキュメント等を参考に利用者自身で行って下さい。(本センターでは接続先ホス トに関する内容以外のご質問には対応できません。)

• TCP/ <u>I</u> P	Hos <u>t</u> :	sr8000-s.cc.u-t	tokyo.ac.jp	••	ホスト名	
	Service	© Telnet TC © SSH © Other	CP <u>p</u> ort#:	22 ┥	──── ポート番号(──── サービス(Si	22 5H
⊙ S <u>e</u> rial	Port:	COM1 -				
	OK	Cancel	<u>H</u> elp		1	

1. 端末エミュレーターを起動してホストに接続

2. はじめての接続では次の確認メッセージが出る(チェックして次に進む)



3. ログイン名とパスワード(以下の例では sr8000-s のパスワード)を入力

SSH Authentication	
Logging in to sr8000-s.cc.u-tokyo.ac.jp Authentication required.	
User name: a30000	―― ログイン名
Passphrase:	― パスワード
O Use plain password to log in	―― 「パスワード認証」
C Use <u>B</u> SA key to log in Private key file:	
C Use mosts to log in Local user name: Host private key file:	
O Use challenge/response ([]6] to log in	
OK Disconnect	

「OK」でログインメッセージが出力されれば接続完了です。

Macintosh からの接続

- 注)SSH クライアントソフトウェア F-Secure SSH Macintosh 1.0(商用)による接続の例です。なお、 これらのソフトウェアのインストール、起動、設定は付属のドキュメント等を参考に利用者自身で 行って下さい。(本センターでは接続先ホストに関する内容以外のご質問には対応できません。)
- 1. SSH クライアントソフトを起動してホストに接続

		4	<u> ホス</u>
Host Name:	scalar-mpp.cc.u-tokyo.ac.j	ОК	
User Name:	a30000		
- Authentication -		Proportion	
Password			― パスワ
	,	Help	
Password: RSA		Help	パス

2. はじめての接続では次の確認メッセージが出る

New Host Key		
F-Secure SSH received a previously unknown host key from server: Host Name: scalar-mpp.cc.u-tokyo.ac.jp	Accept Once Accept & Save Cancel Help	―― これをクリック

3. ログインに成功するとウィンドウにログインメッセージが表示される

scalar-mpp-ssh	9	
* We offer the 1024PEs job class on the first weekend of every mo * offer will be started from Friday Jul 7th 22:00 to Monday Jul * You can get further information (in JIS-kanji) with "show-info" ************************************	nth. The next * 10th 9:00. * command. * *******	•
System will shutdown at Fri Jul 07 18:00, 2000 because of system System will start at Fri Jul 07 22:00, 2000 You have mail. ∦ ∎	ma in tenance	■ ▼ //

上の端末エミュレーターを使用しても良いのですが、ソフトウェアが日本語版でない場合には漢字を表示 できないことがあります。このため、次に示すポート転送(Port-forwarding)により、通常使用する端末 エミュレーターを利用して SSH 接続する方法があります。

- 注)以下を続けて行うときは一度、ログアウト% logout してから次の手順 4.~ 6.で設定してください。 1.の画面で「Properties...」をクリックすると 4.の設定画面となります
 - 4. ポート転送を設定するウィンドウを開く

Forwarde • Forwarde • Local • Remo	<u>́RSA Identity</u> ∫Fc d TCP/IP Connect te	irward (Font)	(Terminal) Ki	New	「Local」転送を選 「New」をクリック
				Delete	

5. ポート転送を設定する



6. 上記 1.~ 3. の手順でホストに接続

注)ポート転送設定後 3. で表示されるウィンドウは使用しなくても、ポート転送を有効にするために必要です。ログアウトしないで下さい。

7. 通常使用している端末エミュレーターを起動

注)ここで使用した端末エミュレーターは Better Telnet 2.0fc1J4(フリーソフト)です。他の端末 エミュレーターでも特定のポートを指定できる場合には同様に SSH 接続が可能です。

このとき接続先「Host Name」には現在使用しているパソコンの IP アドレス(またはホ スト名)とスペースに続けて上で設定した「Source Port」の値を入力します。

あなたの端	末のIPアドレ	/ス 1000	_
√indow N	ame (optior	nal):	
	01202	10 100 0 VS02	
		uthenticate (೫ ocrupt (೫೯)	A)

「Connect」でログインプロンプトが出たらログインします。